

MARUMIE IIとは

クレーン作業による労働災害を減らすと共にオペレーター目線に立った作業の効率化・安全化を目的に作られたクレーン作業用カメラです。1号機で得た実績と更なる利便性を追求し改良を加えた新基準モデルで、カメラ・送信機部とバッテリー部を分割し長時間作業に対応し、また技適マーク付送受信機の使用により鮮明なタイムラグのほとんど無い状態の映像を目視しながら作業することが出来ます。



■無線部

項目	内容
電波法適合	工事設計認証番号 208-120006
電波最大飛距離	200m(障害物無し)
周波数	2.4Ghz (2.406Ghz~2.475Ghz)
ペアリング式	干渉制御 DS方式
作動電圧	カメラ部 30V~10V 受信器部 12V
カメラ消費電力	250mA/h ※バッテリーレスで大型クレーンのブーム先端電源で使用可能

■受信部

項目	内容
解像度	720×480
作動電圧	12V
消費電流	150mA

■運転席内モニター部

項目	内容
液晶モニター	9インチWVGA 800×480
	12V 7.5W
映像出力	AV1 AV2 HDMI 3系統 (映像反映機能付き)

■カメラ部

項目	内容
CCDカメラ	SONY SuperHAD HD CMOS700TVL
レンズ	バルフォーカル 5メガピクセル 6-22mm f 1.6
映像方式	NTSC
カメラサイズ	80mm(W) × 70mm(D) × 300mm (H)
重量	1.6kg

■バッテリー部及び充電器

項目	内容
12Vニッケル水素	4.2A/h
バッテリーケース	防水防塵3Pマグネット仕様
専用充電器	1.8A/hオートカット使用
バッテリーサイズ	70mm(W)×80mm(D)×250mm(H)
重量	1.5kg

(注)ブーム先端に2分割されたカメラ部とバッテリー部を専用コネクタで接続して使用します。残量が減った場合、バッテリー部だけを交換して使用する事が可能です。

クレーンカメラの事ならお気軽にお問い合わせください。
「MAMUMIE2」の価格についてはホームページをご覧ください

クレーンカメラ マルミエ 検索

株式会社キョーエイ

〒914-0028 福井県敦賀市中36号14-4

TEL:0770-25-3500(代) FAX:0770-25-3502

クレーンカメラの事ならお気軽にお問い合わせください。

URL <http://kyoeishoji.com>

E-mail info@kyoeishoji.com



無線式クレーンカメラ

MARUMIE II

PRODUCT INTRODUCTION

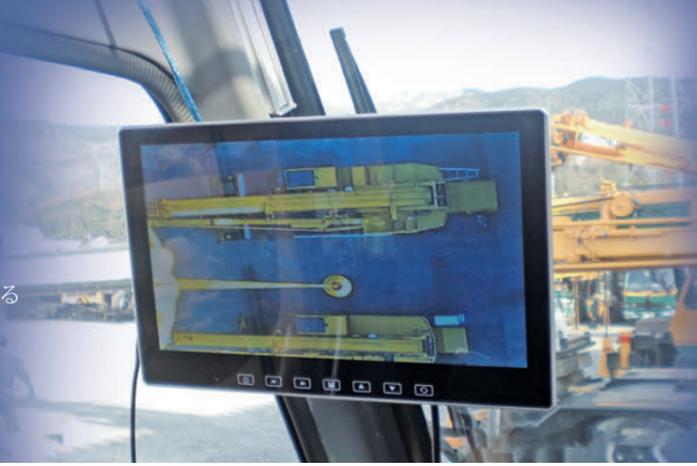
KYOEI

安全

無線式クレーンカメラ

MARUMIE II

作業状況をオペレータ室でモニターする事により、安全性と作業効率を高める



MAMUMIE II の概要について

クレーンのブーム先端に取付け、真下を映しだし送信する『カメラユニット』、この『カメラユニット』に電源を供給する『バッテリーユニット』、運転席内にてオペレーターが映像を見るための『モニターユニット』の3部で構成されており、この映像は無線方式でブーム先端から運転席内に送受信されるため、油圧伸縮式のブームを持つクレーンにも面倒な配線処理無しでセッティングが可能です。



STEP ① 電源を取り付ける



バッテリーを取り付ける
強力なマグネットで車両へ取付できます。
※落下防止用のチェーンを取り付けてください。



カブラの加工と電源を確保する
※必ずバッテリーの(-端子)へ接続してください。
ポディーアースへ接続すると映像が乱れる原因となります。
※車両から24Vの電源を取り出してください。

バッテリーを使ってクレーンカメラを動かす

YES

NO

STEP ② カメラ本体を取り付ける



KATOの場合

TADANOの場合

取り付けるクレーンメーカーは?

STEP ③ カメラの電源を接続する



落下防止のチェーンを取り付ける

バッテリーとカメラのカブラを接続する
※カブラが抜けないようにしっかりと接続してください。

バッテリーの残量が一目で分かる電圧計
バッテリー(電源)に接続するとインジケータに現在の電圧が表示されます。

家庭用電源で簡単充電(100V)
予備のバッテリーがあれば古いものと交換して引き続き作業を行うことができます。

STEP ④ モニターユニットを取り付ける



モニターを設置する

モニターの電源ケーブルを付属のシガーソケットに差し込んでください。



三連シガーソケットを増設する

車両側のシガーソケットに差し込んでください。



三連シガーソケットから電源をとる

受信機の電源ケーブルを付属のシガーソケットに差し込んでください。

STEP ⑤ 電源を確保する



S端子でモニターと受信機をつなぐ

S端子(黄色)をモニターと受信機に接続してください。

STEP ⑥ セットアップ完了



動作確認を行う



正常に表示すれば作業完了です

※バッテリーが不足している場合、電波が弱い場合はモニターにメッセージが表示されます。詳しくは付属のマニュアルをご覧ください。